

雑穀ぞうこくを売候事うりごも、又は買候かいにも商あころなく候あえば、人にぬかるものに候事

一 身上成なり候者かは各別かくべつ、田畑いんげんをも多く持ち申まさず、身上成なりかね候ものは、子供多こどもおおく候はば人にもくれ、又奉公ほうこうをもいたさせ、年ねんちゆう中の口くちすきのつもりをよくよく考かんがえ申ますべき事

一 屋敷やしきの前の庭にはを奇麗きれいにいたし、南向みなみむきを

★□すき（□過ぎ…働いて生計を立てること、生計）

受うけべし、是これは稲麦いねむぎをこき、大豆まめをうち、

雑穀ぞうこくをこしらえ候とき、庭あしく候あえば土砂つちすなま

じり候て、売候事うりごも直段ねだんやすく、殊ことの外ほか

失墜しつたい二なり候事

一作いつくちの功者こうしやなる人に聞き、其田畑そのいんげんの相応さうおうしたる

種たねをまき候あように、毎年まいねん心がけ申ますべき事

附つけ、しつけみに作り候てよきものあり、また

★こき（扱き…しく、稲などを脱穀すること）

失墜（しつたい…浪費、損失）しつけみ（湿気み…湿り気）